

1 単元名 球技（バレーボール）

2 目標

- 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームが展開できるようにする。役割に応じたボール操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。（技能）
- バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。（態度）
- 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。（知識、思考・判断）

3 指導に当たって（*組女子*名，*組女子*名，計*名）

本クラスでは合同のクラスからなっており、クラスごとの結束力は強いが、他のクラスへの関心が薄く、同じ活動をしていても関わりが少ない。また、体育の授業に関しては積極的に取り組む生徒が多く、一部の苦手な生徒に対してもアドバイスをするなど、声をかけ合いながら活動している場面を多く見かける。バレーボールの技能では、中学校で学習したこともあり、チームでパスを繋げることは得意である生徒が多いが、試合形式になると相手コートから飛んできたボールへ対応できず、ラリーの続く試合の展開となりにくい。そこで本単元では、ラリーを多く続けられる試合の展開の目指し、バドミントンコートとソフトバレーボールを使用した試合形式の練習を通して技能を高め、チーム編成を工夫し、楽しみながら活動のできる授業の展開を行いたい。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●バレーボールの授業に自主的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ●作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・合意形成に貢献しようとしている。 ●互いに助け合い教えあおうとしている。 ●健康・安全を確保しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●提供された戦術から自己のチームや相手のチームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ・チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。 ●健康や安全を確保するために体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作と連携した動きができる。 ・空間を作り出すなどの攻防を展開するための状況に応じたボール操作と連携した動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・バレーボールに関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ●試合の行い方について学習した具体例を挙げている。 ・審判の方法について、学習した具体例を挙げている。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①合図を聞いてすぐに活動に移ることができる。 ②チームの課題の解決に向け、自己の考えを述べたり、相手の話を聞いたりし、話し合いに関わることができる。 ③仲間のプレイに対して賞賛をすることができる。 ④活動場所の安全を考えて練習をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分のチームの特徴を考えたローテーションの方法を選択することができる。 ②チームの強みや弱点を考えた練習方法を選択することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手コートの空いた場所に返球をすることができる。 ②ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり、打ち返したりできる 	<ul style="list-style-type: none"> ①仲間のプレイを賞賛する際に、正しい技術の名称を使うことができる。 ②試合のルールを理解し、スムーズに進行することができる。

5 指導と評価計画（15時間扱い）

	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ	<p>○バレーボールについて知り、楽しく活動しよう。</p>				
55分	<p>1 オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。 ・練習をする際の約束や、ルールを知る。 ・パスの方法について知る。</p>				
×	<p>2 ウォームアップ</p>				
2	<p>3 バドミントンネットとソフトバレーボールで試合形式を行う。</p>	①			
2	<p>5 まとめ</p>				
なか	<p>ねらい①</p>				
か	<p>○ペアで協力してパスを繋げよう。</p>				
1	<p>○狙った場所にサーブを打てるようになろう。</p>	④			
55分	<p>1 オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。</p>				
×	<p>2 ウォームアップ</p>				
4	<p>3 パスの打ち方を知る。 ・オーバーハンドパス・アンダーハンドパス</p>				
	<p>4 オーバーハンドパスの練習をする。</p>				
	<p>5 アンダーハンドパスの練習をする。</p>				
	<p>6 サーブの打ち方について知る。</p>			①	
	<p>7 サーブの練習をする。</p>				
	<p>8 まとめ</p>				
なか	<p>ねらい②</p>				
か	<p>○仲間の打ち安い場所に打ち、パスを繋げて三球で返球をしよう。</p>				
2	<p>1 オリエンテーションを通して学習の進め方を知る。</p>				
55分	<p>2 三段攻撃の方法を知る。 ・レシーブ、トス、スパイク</p>	③			
×	<p>3 チームごとに練習を行う。</p>				
4	<p>4 バドミントンコートを使いミニゲームを行う。</p>		①		
	<p>5 まとめ</p>				
ま	<p>○チームで作戦を立てて試合を楽しもう。</p>				①
と	<p>1 チームで目標、練習方法を計画する。</p>				
め	<p>2 チームで練習を行う。</p>			②	
55分	<p>3 試合を行う。</p>	②			
×	<p>4 まとめ</p>				
5		③	②		②

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

○チームで声をかけ合い、パスを繋げて相手のコートを狙った場所に返球をしよう。

(2) 展開 (8/15)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ	1 県民体操・補助体操をする。 2 整列・あいさつ 3 ねらいの確認をする。	・指先などの使う部分もよくほぐすよう伝える。 ・出欠と健康状態の確認を行う。	
10分	○ チームで声をかけ合い、パスを繋げて相手のコートを狙った場所に返球をしよう。		
なか	4 ペアでパスの練習をする。 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス 5 三段攻撃の方法を知る。 ・レシーブ ・トス ・アタック	・練習場所をまわり、オーバーハンドパスでは、自分の顔よりも高い位置で打つように助言をする。 ・アンダーハンドパスでは、腕を大きくスイングしすぎないように助言をする。 ・セッターが返球しやすい場所へのレシーブ、アタックの打ち安い場所へのトス、助走をし、ジャンプをして打つアタックの説明をする。	
40分	6 チームで三段攻撃の練習を行う。	・相手コートから飛んできたボールに対し、胸より下のボールはアンダーハンドパスで、チャンスボールや体の正面にきたボールはオーバーハンドパスレシーブするように声をかける。 ◇返球がうまくいかない生徒は相手コートへ返球するまでに1回手でキャッチをして投げても良い。	<運動の技能②> ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり、打ち返したりできる。
	7 チームで話し合いサーブの順番を決める。	・サーブが変わるごとにローテーションをすることを説明する。	
	8 ミニゲームをする。 ・時間制 ・バドミントンコートを使用する。 ・バレーボールを使用する。 ・コートには4人が入り、ポイントごとにローテーションを行う。	・三段攻撃を意識しながら3球で返球するように声をかける。 ・お見合いを減らすよう、声を出し合うよう声をかける。 ◇サーブが相手コートまで届かない生徒はコート内からサーブを打っても良い。	<運動の技能②> ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり、打ち返したりできる。
まとめ	9 片付け 10 本時の反省を行う。	・全員で協力し、安全に行うよう声をかける。 ・何名か指名し、感想を聞く。	
5分	11 あいさつ	・怪我などをしていないか確認をする。	

◇は努力を要する状況にある生徒への手だて